

I am ～. の文

「^{わたし}私は～です。」と言いたいときには、^{アイ} ^{アム} I am ～. と言います。

日本語 私はミヤザキサキです。
英語風の日本語 私は です ミヤザキ サキ
英語 I am Miyazaki Saki.
練習 I am Miyazaki Saki.

- 英文の最初の文字は**大文字**にする
- ※ただし、**I**という単語は文のどこに書いても大文字になる
- 英文の最後には . (ピリオド) をつける
- 単語と単語の間は1字分くらいあける
- 人の名前は、姓も名 (下の名前) も最初の文字は**大文字**にする
- I am** は、' (アポストロフィ) を使って **I'm** としても OK

You are ～. の文

「あなたは～です。」と言いたいときには、^{ユー} ^{アー} You are ～. と言います。

日本語 あなたはミヤザキサキ (さん) です。
英語風の日本語 あなたは です ミヤザキ サキ
英語 You are Miyazaki Saki.
練習 You are Miyazaki Saki.

- 「です」という単語は、「～は」ということば (主語といひます) で使い分ける
- ※主語が **I** (私は) なら **am**、**You** (あなたは) なら **are**

Are you ~? の文

「あなたは～ですか。」と言いたいときには、**Are you ~?** と言います。

日本語 **あなたはミヤザキサキ（さん）ですか。**

英語風の日本語 **ですか あなたは ミヤザキ サキ**

英語 **Are you Miyazaki Saki?**

練習 **Are you Miyazaki Saki?**

□主語（ここでは「あなたは」と「です」という意味の単語の順番をヒックリ返すと「～ですか」という内容が表せる

□「～ですか」という内容を表す文を**疑問文**という

□疑問文を作るとき、. のかわりに使う **?** をクエスチョンマークという

Are you ~? の文への答えの文

そうならば、**Yes, I am.** ちがっていれば、**No, I am not.** と答えます。

日本語 **はい、そうです。**

英語風の日本語 **はい 私は です**

英語 **Yes, I am.**

練習 **Yes, I am.**

日本語 **いいえ、ちがいます。**

英語風の日本語 **いいえ 私は です ません**

英語 **No, I am not.**

練習 **No, I am not.**

□ **Yes** や **No** の後ろの , は、コンマという

□ 疑問文の **you** (あなたは) は、答えの文では **I** (私は) になる

※日本語で、「あなたは～ですか。」と聞かれたら、「はい、私は～です。」と答えることから理解できますよね。

□ **I am not** は、'(アポストロフィ)を使って **I'm not** とすることもできる

I am not ~. の文

「私は～ではありません。」と言いたいときには、**I am not ~.**と言います。

日本語 私はミヤザキサキではありません。

英語風の日本語 私は です ません ミヤザキ サキ

英語 **I am not Miyazaki Saki.**

練習 I am not Miyazaki Saki.

□ 「です」という意味の単語の後ろに「ない」という意味の単語 **not** を書くと「ではありません」という内容が表せる

□ **not** を使って「～ません」という内容を表す文を**否定文**という

※ **are** も「です」という意味を表す単語なので、後ろに **not** を書くと「ではありません」という内容が表せる (**are not** は、**aren't** としても OK)

(例) **You are not Miyazaki Saki.** (あなたはミヤザキサキ(さん)ではありません。)



Are you Miyazaki Saki? という疑問文には、

Yes, I am Miyazaki Saki. (はい、私はミヤザキサキです。)

No, I am not Miyazaki Saki. (いいえ、私はミヤザキサキではありません。)

と答えることもできるけど、**am** や **not** から先 (ここでは、**Miyazaki Saki**) の単語をはぶいて答えるのがふつう